

2011年11月21日

報道関係各位

第10回 JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭
ゼネラルプロデューサー 額賀 剛治



「第10回記念開催 JCF 学生映画祭 in Tottori」の

3つのコンペティション部門

<学生映画部門><学生アニメ部門><鳥取県観光CMアイデア部門>

応募総数451作品の中からグランプリが決定！

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、本年いよいよ記念すべき第10回目の開催を迎えました。

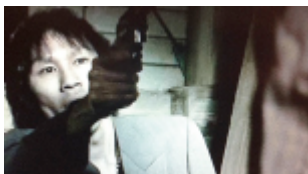
記念大会となる「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」のコンペティションプログラム3部門（学生映画、学生アニメ、鳥取県観光CMアイデアコンテスト）には、合計で451作品の応募を全国から頂き、11月19日（土）・20日（日）の両日、鳥取県米子市のコンベンションセンター（BIGSHIP）で開催され、各部門の入選作品の中から、各部門審査員による最終審査により、グランプリが決定いたしました。

コンペティション各部門のグランプリ受賞者には、それぞれスカラシップ制度での新作制作支援等が予定されており、本映画祭のキャッチフレーズの<学生よ！夢を忘れてはいないか！>に相応しく、本学生映画祭を通じて鳥取から、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指してまいります。

各部門の受賞者及ぶスカラシップは、下記の通りです。

<ガイナレソーラーpresents 学生映画 AWARD>

■ グランプリ 早稲田大学 齊藤 弘明 <HOLDUP>



【作品概要】川原で暮らす姉弟。家族のために友を殺した刑事。薬に溺れる金貸し。顔を変えて我が子に会う賞金首。史上空前の大不況。そんな時代の或る街で、強盗事件が起こった。

【スカラシップ】地元のサッカーJ2チーム・ガイナレ鳥取の選手を起用し、「ガイナレソーラー」のTVCMの制作を担当することが決定。

■ 準グランプリ 立命館大学 水川 史也 <ある部屋の重さ>



【作品概要】自殺や孤独死といった日本の社会問題をテーマに、自殺や孤独死があった部屋の掃除をする「特殊清掃」という仕事を中心に、貧しく仕事もなかった主人公が、小さな清掃会社を営む人間臭い社長や他人の自殺、孤独死に触れながら「人の生き方」について教えていく。

【スカラシップ】「鳥取観光CMアイデア AWARD」グランプリ作品の映像化を担当することが決定。

※ 鳥取県の公式観光CMの一つとして採用される予定であり、学生の手による地域活性化への貢献を目指して参ります。

<審査員>

審査委員長：高 秀蘭（映画プロデューサー）

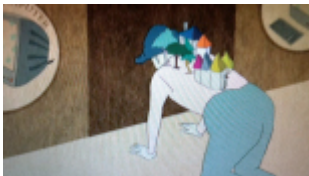
審査員：藤原 洋（株式会社インターネット総合研究所所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役）

審査員：大和田 廣樹（映画プロデューサー）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭フェウンダー）

<学生アニメ AWARD>

■ グランプリ 宝塚造形芸術大学 井上 有希 <街を背負う男>



【作品概要】街を背負うことが義務であり、背負う街がその人の価値になる世界。

自分の街を肥やし、見栄を張るほど、背中の街に住む人々の生活を背負う責任感は重くなっていく。主人公のヒリピー・ポンはある日失業する。お金もなく、街を背負う喜びを見いだせなくなった彼は、背中の街を海に沈めようとするが、海で同じ考えを持つ女性と出会い、そこで彼は初めて自分と向き合う。

【スカラシップ】サンテレビなどの西日本のU局と鳥取県の地元放送局で、2012年1月～3月に週1回放送を予定している、ミスキャンパスがナビゲーターを務める学生向け情報番組（30分番組）のタイトルバックの制作を担当することが決定。

■ 準グランプリ 大阪コミュニケーションアート 川岸 瑠次 <GASUO 'S MOVIE いすとり編>



【作品概要】椅子とりゲームを題材に、2人のキャラクターが相手に座らせないようにドタバタアクションを行う。ウサビッチ的な色彩の3D作品。

■ 審査委員特別賞 多摩美術大学 沼田 友 <雨ふらば風ふかば>



【作品概要】前代未聞のお墓ファンタジー！？お墓の前に居座る少年、それを迷惑がる少女とのひと夏の物語は、やがて意外な方向へ…。万物の生と死、人と人との出会いと別れ、そして再生を描き出した長編アニメーション。

<審査員>

審査委員長：赤井 孝美（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）

審査員：高 秀蘭（映画プロデューサー）

審査員：播間 光広（NPO法人喜八プロジェクト監事）

審査員：耶雲監督（第2回JCF学生映画祭グランプリ受賞監督）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭フェウンダー）

<鳥取県presents 鳥取観光CMアイデア AWARD>

■ グランプリ 同志社大学 岡崎 洋志 <産業砂丘―鳥取 愛ゆえの自虐>

【作品概要】鳥取出身者らしい鳥取県愛に満ちた提案。ほとんどの人たちは、鳥取県＝砂丘と認識しているという実体験から、<何もなさ>を前面に押し出す自虐的なトーンで、鳥取をPR。

【スカラシップ】「鳥取観光CMアイデア AWARD」のグランプリ作品は、「学生映画AWARD」の入賞者の中から選出された学生映画監督により映像化されます。

※ 鳥取県の公式観光CMの一つとして採用される予定であり、学生の手による地域活性化への貢献を目指して参ります。

■ 準グランプリ 立命館大学 吉田 美織・平田 平田久美子<変わらない鳥取砂丘>

<審査員>

審査委員長：西尾 浩一（鳥取県観光政策課長）

審査員：中村 圭一（鳥取県観光連盟専務理事）

審査員：耶雲監督（第2回JCF学生映画祭グランプリ受賞監督）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭フェウンダー）

【第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori】開催概要】

●名 称：第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori

<http://jcf.jpn.com/>

●開催日時：2011年11月19日（土）～11月20日（日）

●開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL.0859-35-8111

●主 催：JCF 学生映画祭実行委員会

●実行委員：実行委員長／高 秀蘭（映画プロデューサー）

特別顧問：平井 伸治（鳥取県知事）

特別顧問：野坂 康夫（米子市長）
特別顧問：中村 勝治（境港市長）
特別顧問：石田 耕太郎（倉吉市長）
特別顧問：竹内 いさお（鳥取市長）
特別顧問：藤原 洋（株式会社インターネット総合研究所所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役）
実行委員：木村 政雄（5 L 編集長）
実行委員：大和田 廣樹（映画プロデューサー）
実行委員：武内 英人（株式会社エフエム東京執行役員）
実行委員：太田 雅人（株式会社 GETTIGROUP 代表取締役／JCF 学生映画祭フ
ァウンダー）
ゼネラルプロデューサー：額賀 剛治（株式会社 JCF 取締役）

- 企画制作：株式会社 JCF
- 制作運営：JCF 学生映画祭運営事務局
- 協 賛：株式会社ナノオプトニクス・エナジー、トヨタ自動車株式会社
- 協 力：株式会社ナノオプト・メディア、NEWWAVE、GMHoldings 株式会社、
ライフエンタテインメント、PHUUK、OverDriveDesign、ドリームキッド
- 特別後援：鳥取県
- 後 援：米子市、境港市、倉吉市、鳥取市、鳥取大学、鳥取環境大学、朝日新聞鳥取
総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、新日本海新聞社、NHK 鳥取放
送局、BSS 山陰放送、山陰中央テレビ、日本海テレビ、日本海ケーブルネッ
トワーク、エフエム山陰、DARAZ FM、鳥取県商工会連合会、鳥取県商工会議
所連合会、社団法人米子青年会議所、財団法人鳥取県文化振興財団、ガイナ
ーレ鳥取
- 行事内容
 - 【1】学生コンペティションプログラム（映画・アニメ・CM のジャンルで、学生監督が競い
ます。）
 - (1) ガイナーレソーラーpresents 学生映画 AWARD
 - (2) 学生アニメ AWARD
 - (3) 鳥取県 presents 鳥取観光 CM アイデア AWARD
 - (4) TOYOTA みんなのエコカー会議 × JCF 学生映画祭
大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード
 - 【2】特別プログラム（10 周年特別企画で様々な企画がございます。）
 - (1) 10 周年特別プログラム 歴代 JCF 学生映画祭グランプリ受賞監督紹介
 - (2) 米子特別パートナープログラム
- 入 場 料：無料（入退場自由）

【「JCF 学生映画祭」これまでの歩み】

JCF 学生映画祭は、1989 年当時の竹下内閣の〈ふるさと創生資金〉の 1 億円を活用した地
域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタステイ
ック映画祭」（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。）の 10 周年特別協賛
企画として、1999 年に〈学生映画の甲子園〉を合言葉に、当時の 949 団体のクラブ・同好会・
サークルが所属する日本サークル連盟（Japan Club・Circle Federation）が主催した〈ゆ
うばり国際ファンタステイック映画祭 特別協賛企画 第 1 回 JCF 学生映画祭〉の流れを
組み、第 1 回から第 3 回までを夕張市で開催、第 4 回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門

も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第 5 回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初！畳の上で映画祭」を開催、2010 年に LVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君（当時成蹊大学在学）を輩出しました。第 6 回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALL で開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第 7 回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007 年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007 年、2008 年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭 2007・2008 を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元 NPO 法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の 2 年間の活動の成果も残せましたので、いよいよ学生映画祭として本格的に再開すべく、記念すべき 10 回目の開催地として、「環境立県」を掲げる eco のまちである鳥取県での開催を実施いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-3 平河町伏見ビル 9F 株式会社 J C F 内
第 10 回 JCF 学生映画祭 in Tottori 運営事務局
TEL. 03-3230-7770 / FAX. 03-3230-7024
<http://jcf.jpn.com/>